LONG TERM GOOD RELATION
いちよし証券

2024年３月期第２四半期決算説明会

いちよし証券株式会社
執行役社長
玉田 弘文
2023年12月5日（火）

第一部：決算の状況

（2023年度上半期連結決算）

1．収支の状況

ICHIYOSHI SECURITIES

◆営業収益は、前年同期比6億3,800万円（7.5%）増加の91億6,800万円

◆経常利益は、前年同期比4億7,100万円（61.7%）増加の12億3,400万円

◆親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比3億5,400万円（70.8%）増加の8億5,400万円

(単位：百万円)

	2023年3月期2Q	2024年3月期2Q	前年同期比増減率	前年同期比増減額
営業収益	8,529	9,168	7.5%	638
純営業収益	8,510	9,147	7.5%	636
販売費・一般管理費	7,773	7,922	1.9%	149
営業利益	737	1,224	66.1%	487
経常利益	763	1,234	61.7%	471
特別損益	2	47	2,187.9%	45
法人税等	265	427	61.3%	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	500	854	70.8%	354

(単位：百万円)

2023/3				2024/3	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
4,344	4,184	4,102	4,034	4,580	4,587
4,335	4,175	4,096	4,018	4,569	4,578
3,952	3,821	3,838	3,847	3,946	3,976
383	354	257	170	622	601
399	363	284	167	642	592
▲0	2	▲1	0	47	0
136	128	110	82	211	216
262	237	172	85	478	376

2．純営業収益の内訳

ICHIYOSHI SECURITIES

◆受入手数料は、委託手数料及びその他の受入手数料(信託報酬等)の増加等により前年同期比6億800万円（7.3%）増加の89億2,600万円

(単位：百万円)

	2023年3月期2Q	2024年3月期2Q	前年同期比増減率	前年同期比増減額
受入手数料	8,318	8,926	7.3%	608
トレーディング損益	29	53	81.7%	24
その他の営業収支	98	102	4.3%	4
金融収支	64	64	0.3%	0
合計	8,510	9,147	7.5%	636

(単位：百万円)

	2023/3				2024/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
受入手数料	4,243	4,074	3,989	3,911	4,471	4,455
トレーディング損益	7	22	18	22	20	33
その他の営業収支	49	49	52	56	44	58
金融収支	35	29	35	27	33	31
合計	4,335	4,175	4,096	4,018	4,569	4,578

3．受入手数料の内訳

ICHIYOSHI SECURITIES

◆株券の委託手数料は、前年同期比4億4,000万円（20.1%）増加の26億3,100万円

◆投資信託の募集・売出し手数料は、前年同期比8,100万円（5.6%）減少の13億7,200万円

◆その他の受入手数料（信託報酬等）は、前年同期比4億2,500万円（10.2%）増加の45億8,600万円

(単位：百万円)

	2023年3月期2Q	2024年3月期2Q	前年同期比増減率	前年同期比増減額
受入手数料	8,318	8,926	7.3%	608
委託手数料の主な内訳				
株券	2,190	2,631	20.1%	440
募集・売出し手数料の主な内訳				
投資信託	1,453	1,372	▲5.6%	▲81
その他の受入手数料の主な内訳				
信託報酬等	4,160	4,586	10.2%	425
信託報酬等以外	279	282	1.1%	3
計	4,439	4,868	9.7%	429

(単位：百万円)

	2023/3				2024/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
受入手数料	4,243	4,074	3,989	3,911	4,471	4,455
委託手数料の主な内訳						
株券	1,086	1,104	1,182	1,094	1,383	1,247
募集・売出し手数料の主な内訳						
投資信託	791	662	546	642	686	685
その他の受入手数料の主な内訳						
信託報酬等	2,048	2,111	2,084	2,030	2,222	2,363
信託報酬等以外	138	140	124	111	142	139
計	2,186	2,252	2,209	2,142	2,365	2,503

<参考>

（単位：億円）

投信募集額	953	917	▲3.8%	▲36

※ ラップ販売額を含む。

4．トレーディング損益の内訳

ICHIYOSHI SECURITIES

◆トレーディング損益は、株券等のトレーディング損益の増加等により前年同期比2,400万円（81.7%）増加の5,300万円

(単位：百万円)

	2023年3月期2Q	2024年3月期2Q	前年同期比増減率	前年同期比増減額
株券等	15	44	194.4%	29
債券・為替等	14	9	▲34.8%	▲5
（債券等）	(3)	(0)	(▲73.9%)	(▲2)
（為替等）	(11)	(8)	(▲22.6%)	(▲2)
合計	29	53	81.7%	24

(単位：百万円)

	2023/3				2024/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
株券等	1	13	18	18	15	28
債券・為替等	5	9	0	4	4	4
（債券等）	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)
（為替等）	(3)	(7)	(▲0)	(3)	(4)	(3)
合計	7	22	18	22	20	33

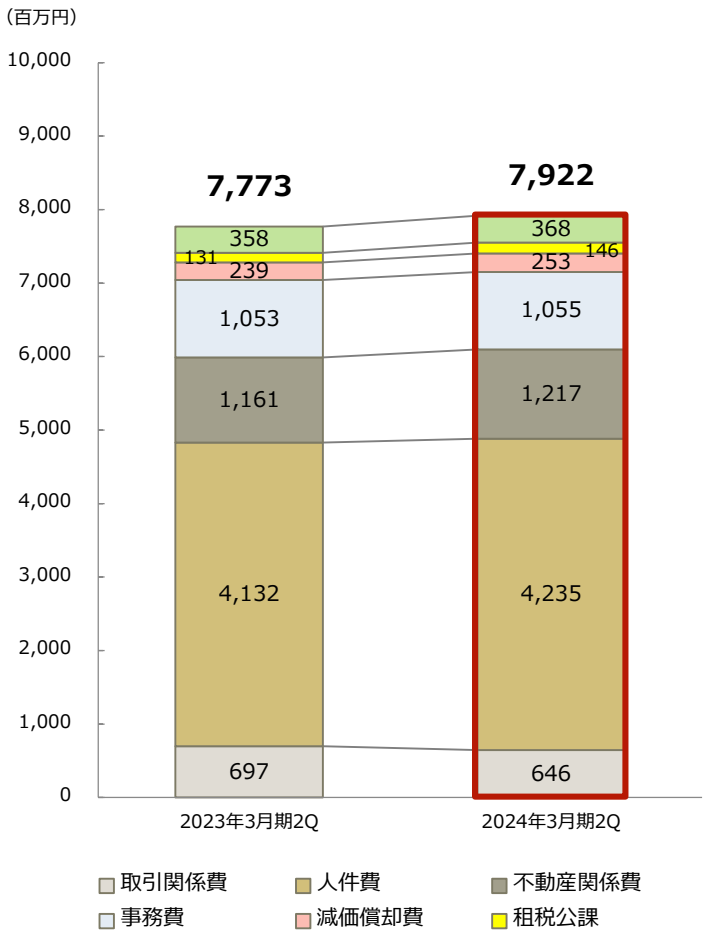
5．販売費・一般管理費の内訳

ICHIYOSHI SECURITIES

◆販売費・一般管理費は、人件費の増加等により前年同期比1億4,900万円（1.9%）増加の79億2,200万円

(単位：百万円)

	2023年3月期2Q	2024年3月期2Q	前年同期比増減率	前年同期比増減額
取引関係費	697	646	▲7.3%	▲50
人件費	4,132	4,235	2.5%	103
不動産関係費	1,161	1,217	4.8%	55
事務費	1,053	1,055	0.2%	1
減価償却費	239	253	6.0%	14
租税公課	131	146	11.2%	14
貸倒引当金繰入	0	0	▲86.7%	▲0
その他	358	368	2.9%	10
合計	7,773	7,922	1.9%	149



＜参考＞2024年3月期2Q（4～9月累計）固定費・変動費（単体）

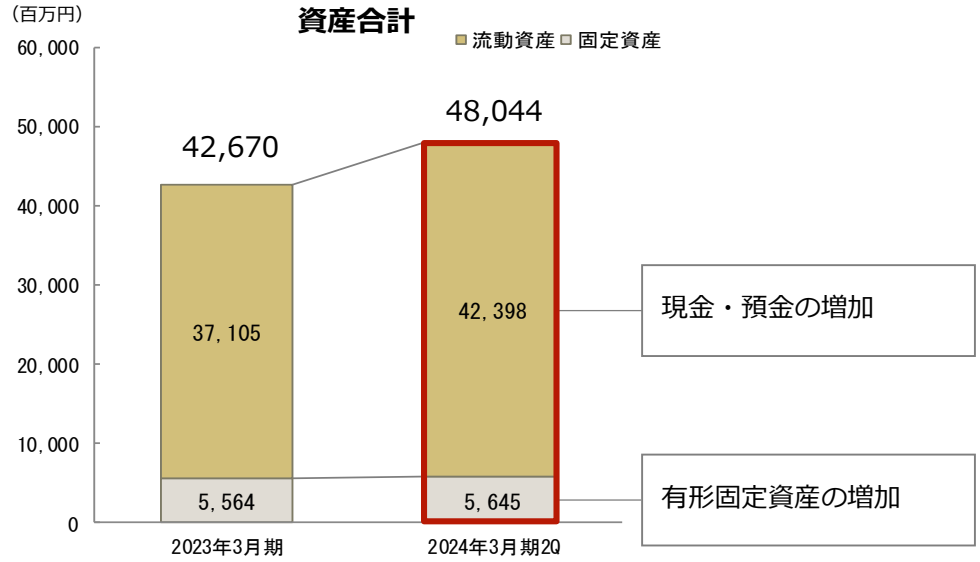
固定費	5,815
変動費	1,588

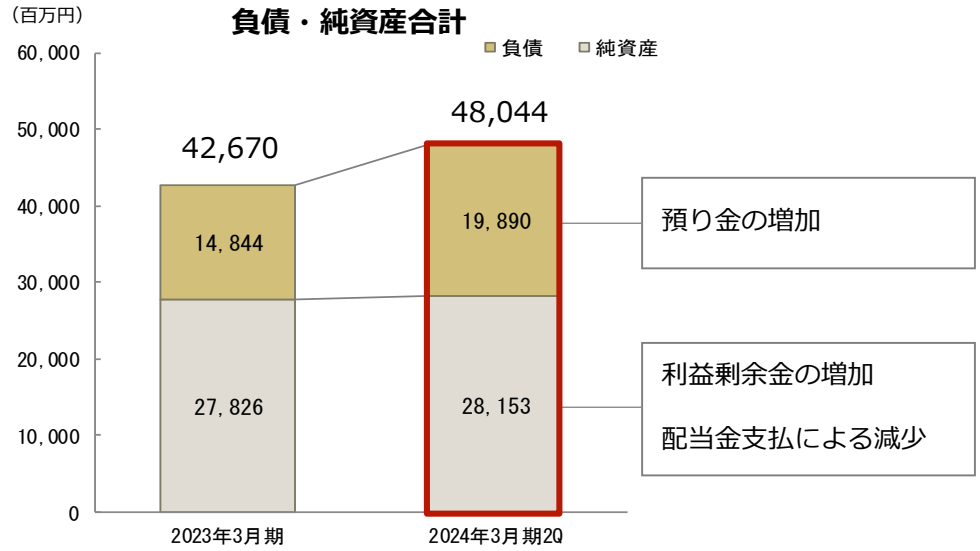
(単位：百万円)

6．貸借対照表及び財務の状況

ICHIYOSHI SECURITIES

貸借対照表





財務の状況

	2024年3月期2Q	前期末比増減
自己資本比率(%)	58.6	▲6.6
1株当たり純資産(円)	832.55	8.77
自己資本規制比率(単体)(%)	527.2	21.4

	2024年3月期2Q	前年同期比増減
1株当たり四半期純利益(円)	25.31	10.97
自己資本四半期純利益率(ROE)(%)	3.1	1.4

いちよしのクレド

経営理念

お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける

経営目標

金融・証券界のブランド・ブティックハウス

行動指針

感謝　誠実　勇気　迅速　継続

Long Term Good Relation

社員のために
社員の個性を尊重し人材の育成に努める

いちよし精神
情熱をもって、真摯に努力し続けます。

働きがい
チームワークを重視し、社員の能力・創造性を活かした自由闊達な企業風土を構築します。

お客様のために
一人、一人の『いちばん』でありたい

お客様第一
常に、お客様の立場に立ち、まごころを込めて、アドバイスを行います。

良質なサービス
社会や市場の変化に対応し、質の高い商品やサービスを提供します。

株主のために
持続的な業績向上を図り企業価値の増大に努める

株主還元
事業の収益性と財務の健全性を高め、株主への利益還元を図ります。

情報の開示
経営の透明性を確保するために、情報を適切に開示し、IR活動に努めます。

社会のために
金融・証券市場の担い手として社会の発展に貢献する

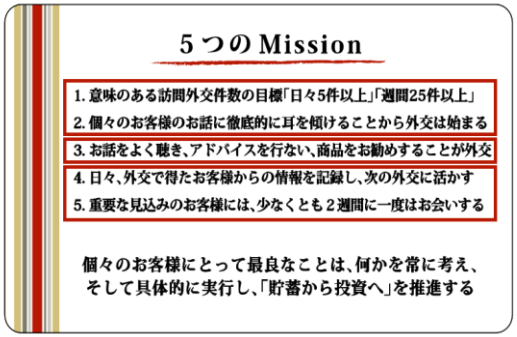
社会的責任
法令・諸規則を遵守し、高い倫理観をもって行動します。

社会貢献
企業活動を通じて地域社会と証券市場の発展に貢献します。

いちよし証券

アドバイザー・ミッションカード





米国のブランド・ブティックハウス型証券会社
⇒　いちよしの20数年来のモデル

エドワード・ジョーンズ証券
（FA数、支店数の推移）

（米国・金融革命）
1975年　メイ・ディ　10年後

TOP10の証券会社が10年後には2社に

米国・金融ブティックハウスの急成長

	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	2022.12
ファイナンシャルアドバイザー数	60－149	149－378	**378－1,644**	**1,644－5,939**	**5,939－12,264**	**12,264－18,704**	**18,796**
支店数	9－92	92－304	**304－1,523**	**1,523－5,651**	**5,651－10,964**	**10,964－15,044**	**15,769**

（出所：同社ホームページ開示資料をもとに　いちよし証券が作成）

（日本・金融革命）
1998年　日本版ビッグバン

日本でも、TOP10の証券会社が10年後は2社に

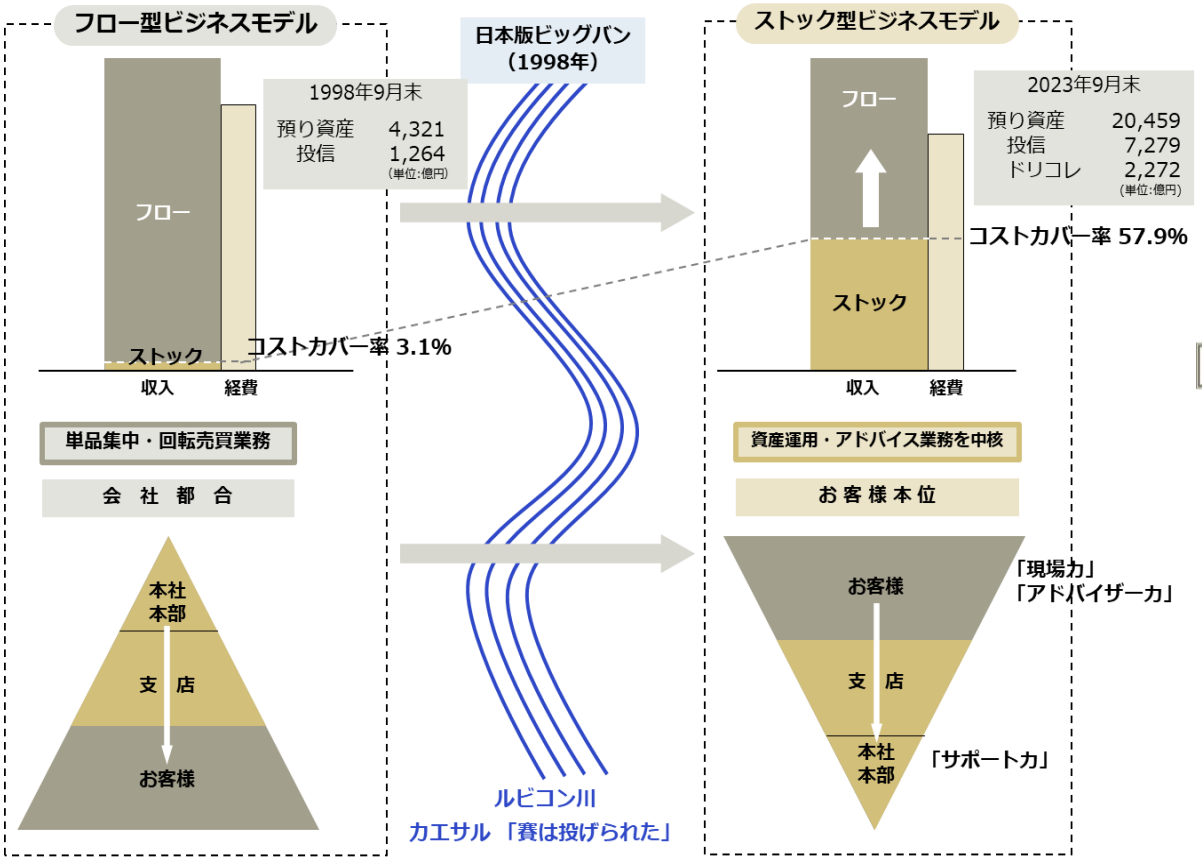
10年後2009年

金融ブティックハウスの成長

8．「日本版ビッグバン」に備えての「改革の断行」

「フロー」のビジネスモデルから「ストック」のビジネスモデルへの転換

第１回 「改革の断行」（1998.9）・第２回 20年振りの 「改革の断行」(2019.10~)



私たちは、お客様に信頼され、選ばれ続ける証券会社であり続けます

お客様のためにやらないこと



お客様のために為すべきこと



第二部：中期経営計画

1．中期経営計画「3・D」の数値目標

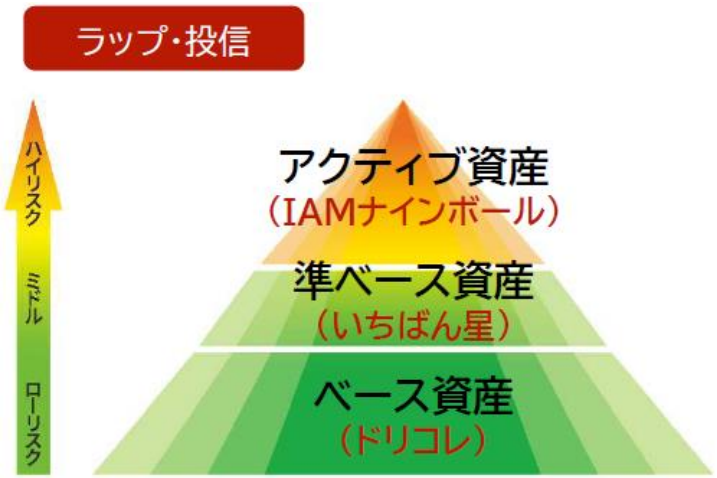
預り資産 3兆円
コストカバー率 ７０％
ＲＯＥ １０％

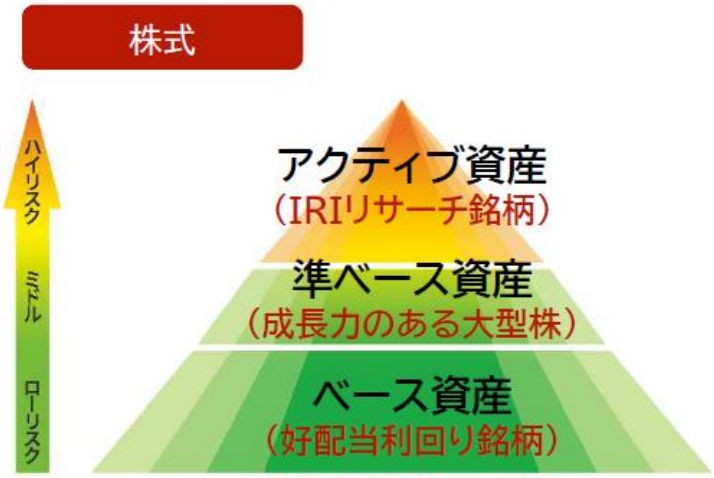


※コストカバー率＝（信託報酬＋ラップフィー）／販売費・一般管理費

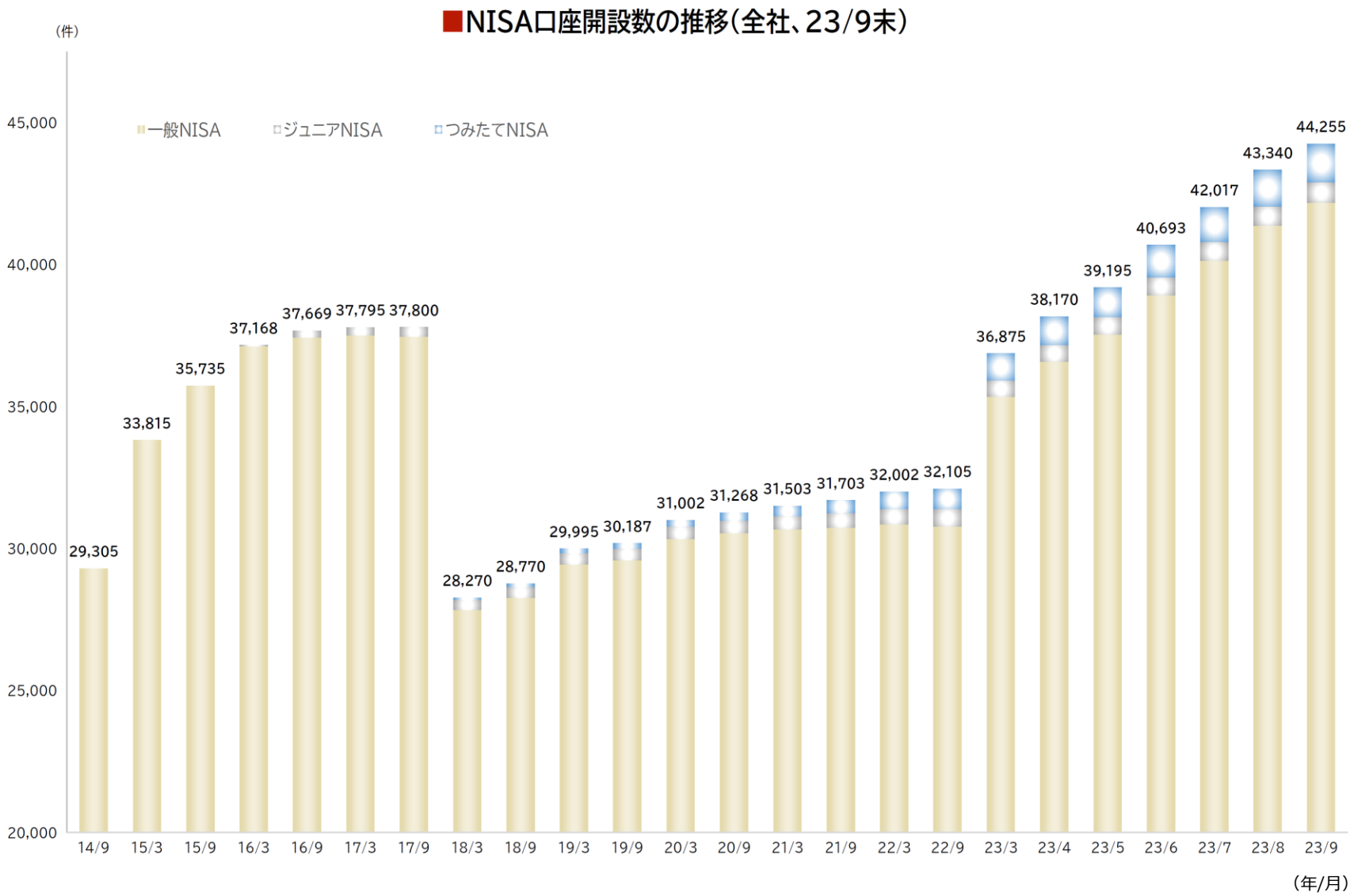
2．計画期間 【２０２３年4月 ～ ２０２６年3月末】の3年間

「預り資産」拡大に向けた戦略





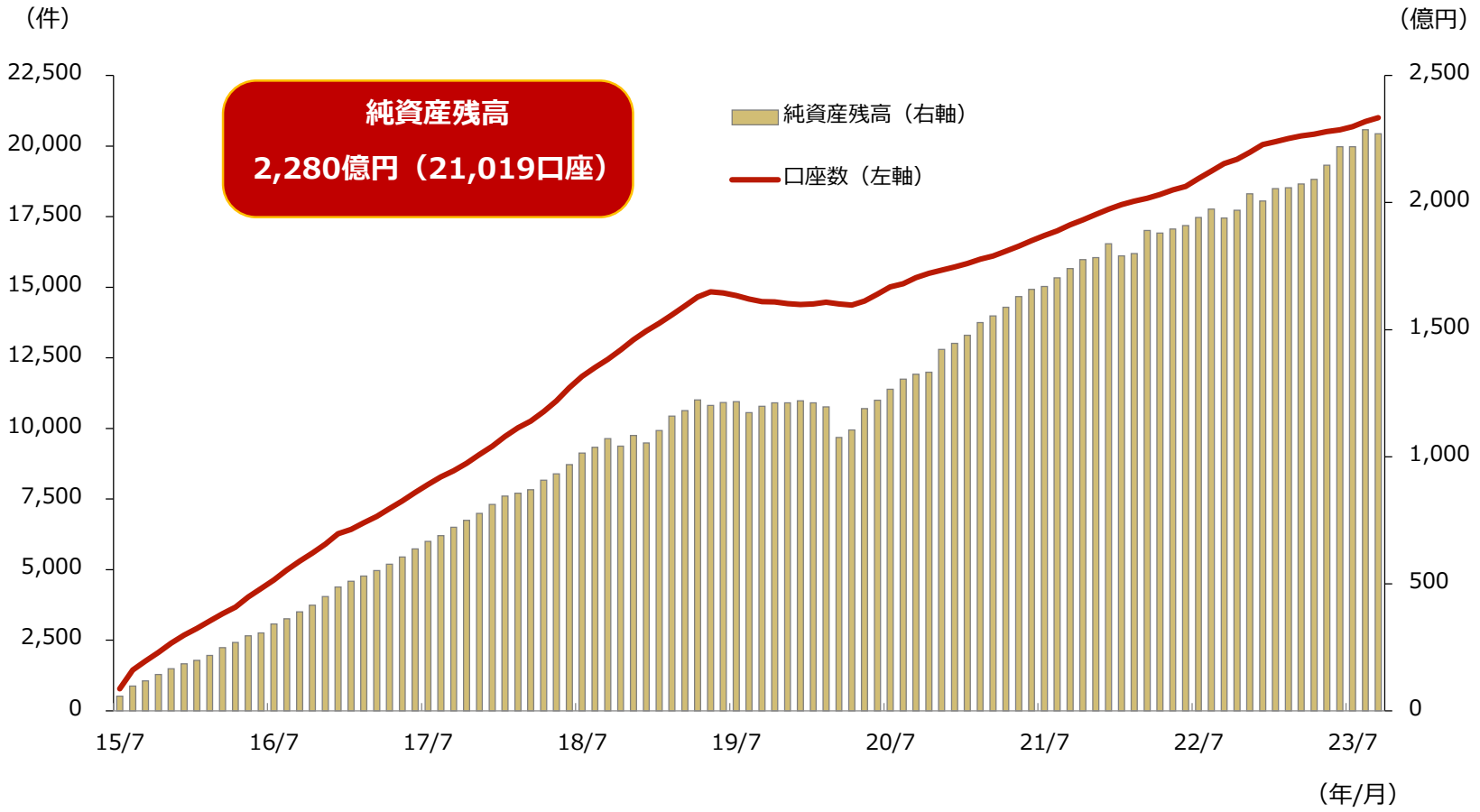
2．NISA口座開設数の推移



3．ベース資産：「ドリーム・コレクション」

- ファンドラップ「ドリーム・コレクション」を「ベース資産」の中核として位置づけ、ポートフォリオでのご提案を通じて預り資産拡大を図ります。

ドリコレ口座数・残高推移（2023年9月末）



4．新NISA制度への対応

・2024年1月から『ドリコレNISA』＆『ドリコレミニ』を追加

ドリコレ

ドリコレNISA

金額設定	ドリコレ	ドリコレNISA
新規の契約最低金額	300万円以上	100万円以上
増減額の申込単位	10万円以上1万円単位	

バランス型ファンドのラップと違い、顧客ごとのリバランスを行う

ドリコレミニ

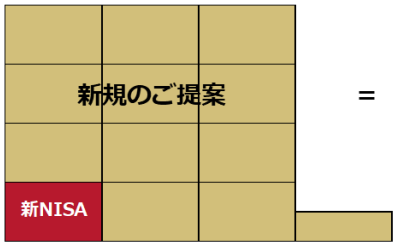
ネットでの積立サービスと違い、アドバイザーに相談できる

■毎月1万円以上1万円単位で買付可能

■定期買い付けの金額はいつでも変更可能

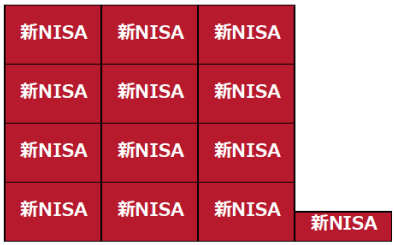
・NISAを入口とした預り資産拡大

新NISA+新規提案＝3,000万円（1口座）のイメージ

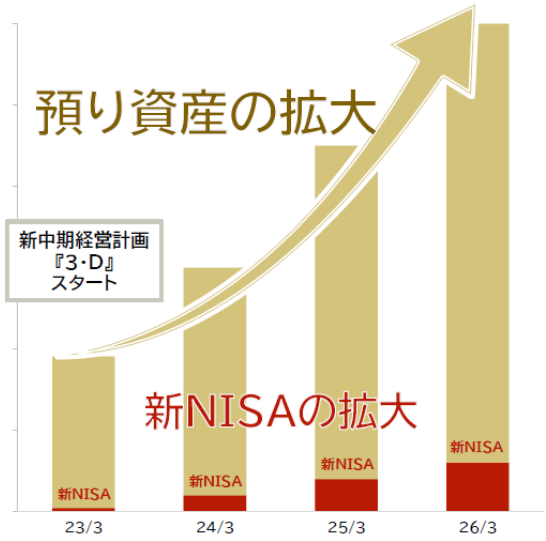


＝

新NISAのみ（各240万円）×12.5口座＝3,000万円のイメージ



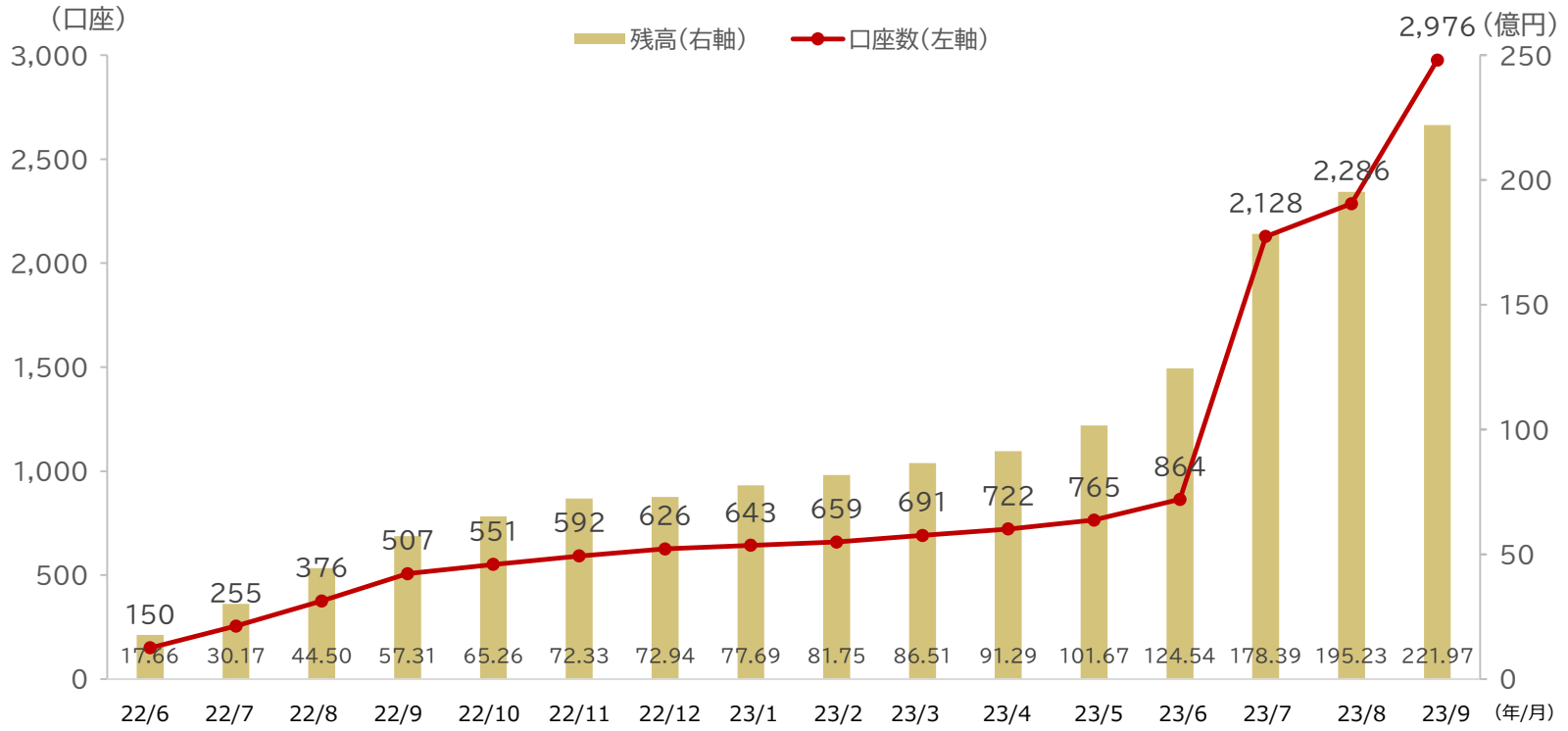
（新NISA+新規提案＝3,000万円）×1万口座＝3,000億円



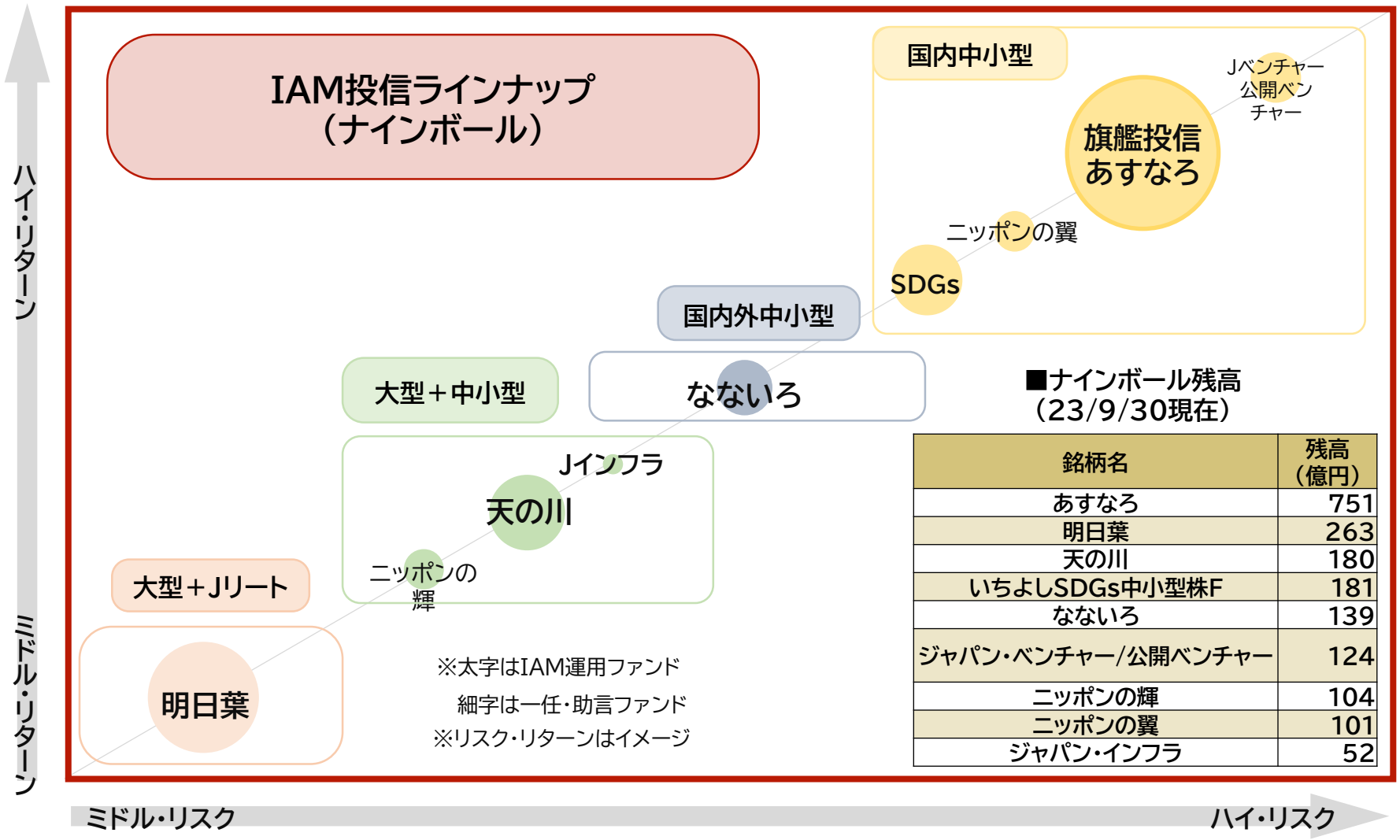
5．準ベース資産：「いちばん星」

- 「準ベース資産」の中核商品である「いちよし・グローバル株式ファンド（いちばん星）」は、日本を含む世界の割安株や中小型株等を投資対象としたファンドです。地域（米国、欧州、日本および新興国）の配分については、いちよし証券が投資助言を行います。対面証券では珍しいノーロードの商品であるとともに信託報酬に実績報酬を取り入れたファンドであることが特徴です。
- 「いちばん星」はR&Iの定量投信レーティングの1年レーティングが最上位の「5」、みんかぶ投信レーティングにおいても最上位の「★5つ」と評価されています。

いちばん星 口座数・残高推移（2023年9月末）



6．アクティブ資産：「IAMナインボール」



■ナインボール残高
（23/9/30現在）

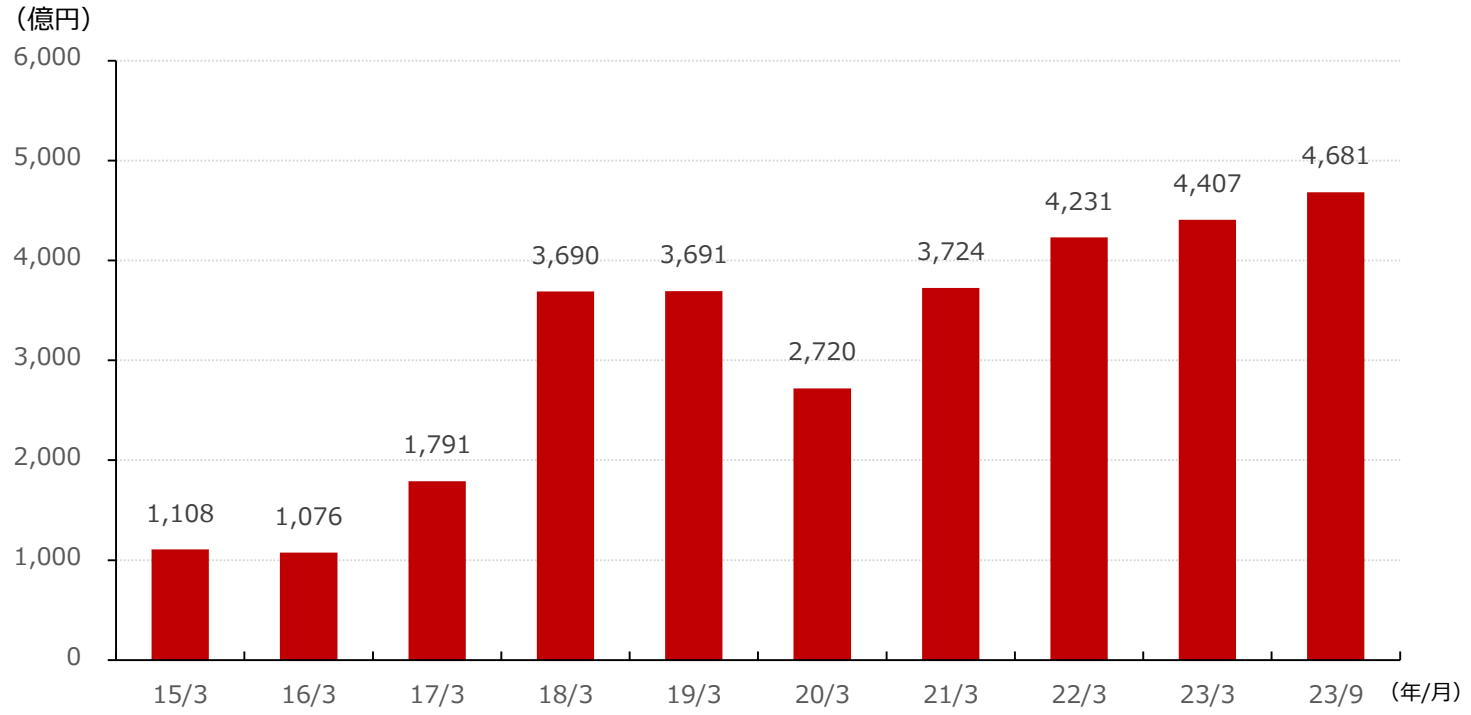
銘柄名	残高（億円）
あすなろ	751
明日葉	263
天の川	180
いちよしSDGs中小型株F	181
なないろ	139
ジャパン・ベンチャー/公開ベンチャー	124
ニッポンの輝	104
ニッポンの翼	101
ジャパン・インフラ	52

7．IAMの運用力を活かし投信ブランド力を高め残高を拡大

ICHIYOSHI SECURITIES

- いちよしアセットマネジメント（IAM）は、グループの中小型、新興成長企業の発掘・運用ノウハウを結集したアセットマネジメントビジネスを主力とし、お客様のニーズに合わせて、アセット・アロケーションを含めた幅広い運用商品の提供を目指しています。
- 継続性と一貫性のある企業リサーチにより、企業の中長期的な利益成長を重視したアクティブ運用を行うことで超過収益の獲得を目指します。

IAM 運用資産残高の推移（2023年9月末）



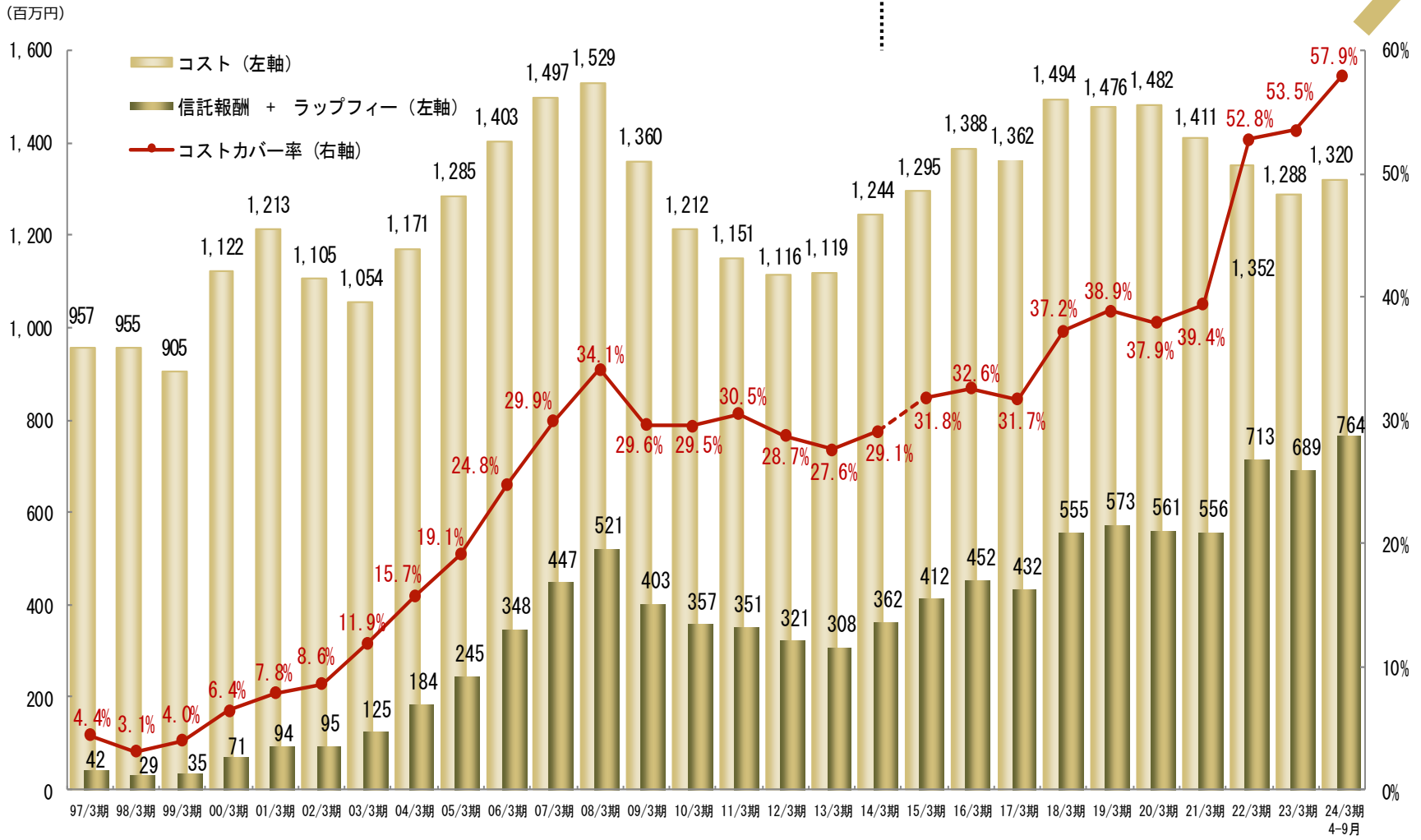
出所：いちよしアセットマネジメント

8．信託報酬とコストカバー率の推移（月額平均）

※ コストカバー率 ＝ （信託報酬 ＋ ラップフィー） / コスト（販売費・一般管理費） × 100 （%）

単体 ←→ 連結

26/3期末 70%

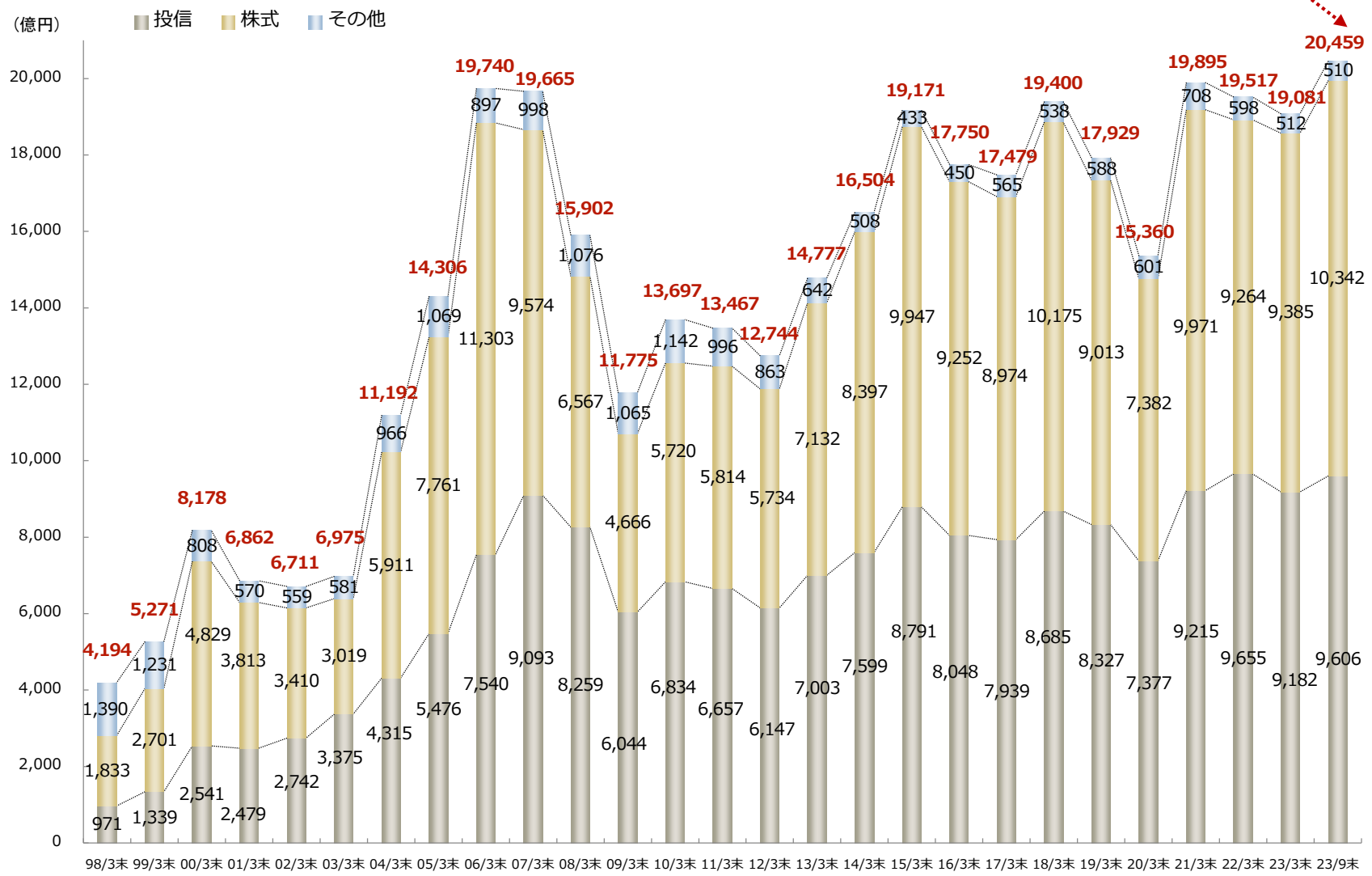


9．預り資産の推移

ICHIYOSHI SECURITIES

2023年10月より真水Awardを導入

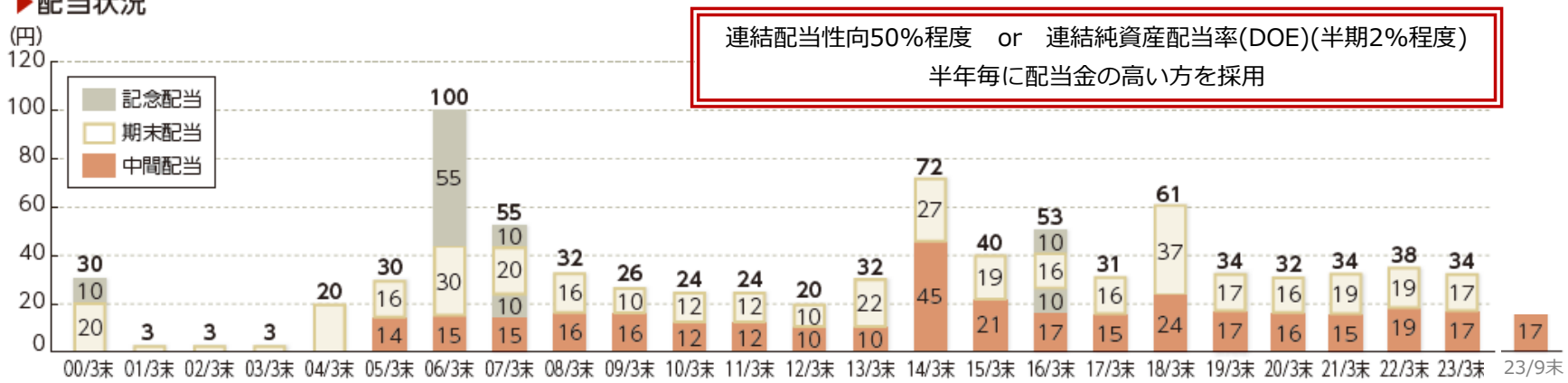
26/3期末
3兆円



10. 株主還元策

- 当社は、株主還元を経営上の重要課題と捉えています。業績連動型の配当方針を基本とし、配当性向をベースとした配当を行っていますが、株主の皆様への適切な利益還元を継続して充実させていくことを目的として、純資産配当率（DOE）についても勘案して配当額を決定しています。
- 具体的には、連結ベースでの配当性向（50%程度）と純資産配当率（DOE2%程度）を配当基準とし、半期毎に算出された金額について、いずれか高いものを採用して配当金を決定しています。

▶配当状況



▶自己株式の消却

	自己株式の消却	平均単価	消却率
1998年9月～2004年1月	11,841,000株	265 円	20.2%
2008年1月～2008年3月	1,699,200株	1,032 円	3.5%
2008年11月～2009年1月	1,957,500株	673 円	4.2%
2019年6月	2,000,000株	871 円	4.5%
2022年5月	2,000,000株	645 円	4.7%
2023年8月	2,500,000株	644 円	6.2%

合計　21,997,700株　（参考）2023年9月末発行済株式総数　37,931,386株

社会貢献活動の一例

当社は20年来、様々な社会貢献活動に取り組んでおります。

			
校舎建設プロジェクト	**いちよしマングローブの森プロジェクト**	**人道医療支援プロジェクト**	**いちよし盲導犬育成プロジェクト**
途上国の子どもたちの学習環境を改善するために、校舎建設プロジェクトへの寄付を通じて支援。	新興国の温暖化被害の対策となる天然の堤防“マングローブ”の植林・保全活動に寄付を通じて支援。	悲惨な環境下で苦しむ人々に、ポリオワクチンやマラリアの治療薬などのごく基礎的な医療の提供、保健機関の再構築、現地スタッフの育成等の活動に寄付を通じて支援。	盲導犬の育成と視覚障がいリハビリテーション事業を基に視覚障がい者の社会参加を促進し、視覚障がい者福祉の増進に寄与する活動に寄付を通じて支援。
東アジア中心に 8ヶ国 12校建設 (1996年～2023年3月現在)	**累計植林数 約455,000本** (2009年～2023年3月現在) ※2015年度から「気候変動被害を受ける コミュニティ支援プロジェクト」も同時進行中	**小児用 予防接種ワクチン 約1,017,000人相当** (2009年～2023年3月現在)	**盲導犬 7頭がデビュー** (2005年～2023年3月現在)

提供番組のご案内

「暦に集う」
毎週日曜よる8時54分～
※放送時間は変更になる場合があります
あなたのハートに BS朝日 5ch

暦に集う

日本には四季がある、折々の出会いもある。
日本各地の祭りや行事に集まる人々、四季の花々、季節の生き物たちなど、
心温まる季節感を全国各地に追って紹介します。味わいのある集いをお楽しみ下さい。

語り/三田寛子　企画協力/CFA　制作/BS朝日

（ご参考）米国投資家の関心

【日本の投資環境について】

・日銀の政策変更による金利上昇の影響

・日本経済の回復、特にインフレは実際起きているのか

・新しいNISA制度によって何が大きく変わるのか

・投資家は変化してきているのか、変化するのか

【当社について】

・競合他社も同じような戦略を取るのではないか

・オンライン証券との棲み分けはあるのか

・人材はどうやって確保するのか

・十分にシステム投資はされているのか

一人、一人の、『いちばん』でありたい。



いちよし証券株式会社　広報室
https://www.ichiyoshi.co.jp/

この資料は、当社の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このページに掲載された資料の情報に基づき、株式等の有価証券投資を判断される場合には、銘柄の選択、売・買の別、投資の時期などの最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

この資料に記載された計画や見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証・約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

この資料は2023年9月30日現在のデータに基づき作成しております。

商号等　　：いちよし証券株式会社
　　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第24号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会